

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第4章 地域包括ケアシステム推進

第3節 障がい者対策

とりまとめ担当課：障害福祉課

1 課題に対するこれまでの取組実績

<p>(1) 障がい者の地域生活を支えるサービス等の確保と地域生活への移行・定着への支援</p> <p>神奈川県障がい福祉計画に定めた障害福祉サービス等の見込量の確保に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> → グループホームのスプリンクラー整備（平成30年度11件） → 障害者グループホーム等サポートセンターによる開設説明会や個別相談等（開設説明会 H30：5回 参加者数118名）を実施した。 → ピアサポートを活用した精神科病院の訪問を行うとともに、関係機関への研修等を開催。<H30：病院訪問28回 研修4回（内訳：登録ピア対象2回、事業所主催1回、関係機関対象1回）>
<p>(2) サービス提供や相談支援のための専門人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> → 在宅や障害者（児）施設において、特定の者に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等の養成に必要な研修事業を委託実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者数：（H30:228名） → 精神障害者の特性を理解した専門人材の養成研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者ホームヘルパー養成研修（H30：研修5回 受講者81名） ・精神障害者ホームヘルパー現任者研修（H30：研修5回 受講者44名） → 障がい者の特性を理解し、適切な歯科診療ができる人材の養成研修、現任研修を実施する神奈川県歯科医師会に対し補助を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・一次医療担当者育成研修(H29-H30:全6日間 受講者56名) (2か年で1期間のカリキュラム) ・一次二次医療担当者現任研修（H30：299名） → 相談支援人材の養成研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援従事者初任者研修（H30：修了者数513名） ・相談支援従事者現任研修（H30：修了者数493名）
<p>(3) 発達障がいや高次脳機能障がいに対する専門的な支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> → 発達障害支援センターかながわA（エース）において、発達障害児・者に対する支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・当事者及び家族、関係機関等からの相談に対する支援（H30：新規相談者数1,308件） ・市町村、教育機関等による研修への講師派遣（H30：20件） ・発達障害の普及啓発講座（H30：参加者数81名） → 高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援や研修事業の実施や、地域支援ネットワー

<p>クの充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者家族や支援者からの相談支援を実施（H30：相談者数 3,850 件） ・一般県民への普及啓発セミナーや、支援者向けの研修を実施（H30：参加者数 362 名）
<p>（４）障がい者が安心して医療を受けられるための支援</p> <p>→ 市町村と連携し、自立支援医療制度や重度障害者医療費助成制度などにより、障がい者への医療費の助成を実施。</p> <p>→ 障がい者歯科の認定医の養成や、地域歯科医師会等による障害者歯科診療システムの研究に対する助成、政令指定都市を除いた県域 5 つの診療圏に二次診療施設を設置している市に対し、施設の運営費の一部について交付金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次医療担当者育成研修 （H29-H30:全 6 日間 受講者 56 名）（2 か年で 1 期間のカリキュラム） ・一次二次医療担当者現任研修（H30：299 名） ・各圏域に二次診療施設を設置している横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、厚木市に対し交付金を交付。

2 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R 1	R 2	R 3	R 4		

3 課題ごとの進捗状況の評価

（１）障がい者の地域生活を支えるサービス等の確保と地域生活への移行・定着への支援

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム設置を検討する法人等に対し、その設置・運営に関する助言等を実施することで、グループホーム等の設置促進が図られた。また、既存のグループホームに対しては、消防法上必要なスプリンクラー整備の補助をすることで、グループホーム利用者の地域生活への定着を支援した。 ・ ピアサポートを活用した精神科病院の訪問を行うとともに、関係機関等への研修を開催し、精神障がいや精神障がい者の地域生活等に関する理解促進を図った。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の地域移行を進めるため、グループホームの防火安全対策を強化するとともに、グループホーム開設等に対するコンサルテーションを行い、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。 ・ 地域における精神障がい者の受入れのための体制整備について、比較的順調に進捗している。

(2) サービス提供や相談支援のための専門人材の確保

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の者に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等の養成に必要な研修事業を委託実施し、一定数を養成することができた。 ・ 精神障害者ホームヘルパー養成研修や現任者研修を実施し、精神障がい者の特性を理解した専門人材を養成した。 ・ 障がい者の特性を理解し、適切な歯科診療ができる人材の養成研修、現任研修の実施により、歯科医療担当者の質の向上に寄与した。 ・ 相談支援従事者を養成する研修を実施し、相談支援人材の確保に努めた。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の受講料を安価に設定し、研修の受講状況を踏まえ実施規模を見直したことによって、介護職員等が受講しやすい環境を整えることができた。ただし、依然として事業所では、喀痰吸引等ができる介護職員が不足し、また、登録研修機関の数や喀痰吸引等制度の普及が十分とは言えない。(H30年度7回定員390名) ・ 精神障がい者の特性を理解した専門人材の養成を着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。 ・ 障がい者の特性を理解した歯科医療担当者の養成が着実に進んでいる。 ・ 障害者のケアマネジメントを担う相談支援人材の確保に向けて、順調に進捗している。

(3) 発達障がいや高次脳機能障がいに対する専門的な支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害支援センターかながわA（エース）において相談支援等を実施し、当事者への専門的な支援を行うとともに、市町村の関係機関を支援し、身近な地域における発達障害の支援体制の充実を図っている。 ・ 高次脳機能障害の当事者家族や支援者に対して、専門的な相談支援を行うとともに、普及啓発セミナーや支援者向けの研修事業を実施し、高次脳機能障害の普及促進や支援者の資質向上を図っている。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害の専門的な支援を行う拠点機関として、福祉、保健、医療等と連携しながら支援に取り組んでいる。 ・ 高次脳機能障害に対する専門的な相談支援や研修等の取組みを着実に実施しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

(4) 障がい者が安心して医療を受けられるための支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者が安心して医療を受けられるよう、適切な医療費助成に取り組んだ。 ・ 一次、二次、三次の各医療機関の連携と障がい者への歯科診療の充実が図られた。

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者への医療費助成について順調に進捗した。 ・ 県の補助により一次、二次診療体制の整備が進むとともに、協議会の開催等により、三次医療機関を含めた連携の促進が図られていることから、神奈川県心身障害児者歯科診療システムが概ね順調に機能している。
------	---

4 総合評価

評価	評価理由
B	障がい者対策に向けた課題については、いずれについても、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。